

【講演シナリオ】

① 講師の自己紹介

- ・本気の朝礼。高校野球やサッカーのメンタルコーチ。企業講演だけでなく、子供向けにPTAや学校講演に。
- ・本気の朝礼を参考にした聖光学院の様子ビデオ。

② 本気じゃんけん

- ・心の開放。講演を前向きに参加してもらうために。
- ・福岡でのPTA大会7,000名の本気じゃんけんの様子。聖光学院野球部の様子。

③ 夢や目標を持つことの大切さ

- ・心技体がパフォーマンスに関わる。どういうときに結果が出るのか。
→特に「心」が重要。つまり、「楽しんでいるとき」。
- ・夢を叶える脳の状態は、「ワクワク楽しい」「前向き」な状態。

④ 夢を叶えるあたらしい方法・予祝

- ・いいことがあるから楽しむのではない。楽しんでいるからいいことが起こる。
今を喜び、笑顔でいる人間には良いことが起こる、
- ・「予め未来を祝う」、つまり「予祝」が大切。
例：日本の花見は、未来の豊作をあらかじめ祝っていた。
- ・2020年が最高の1年になったとして、感謝したい人などを想像して先に祝う。

⑤ 子供たちの可能性について

- ・子供たちは夢を失っている。子供たちは自分の可能性を信じられない現状。
→大人たちの疲れた姿が問題
- ・潜在能力と顕在能力。潜在能力は顕在能力の3万倍。つまり可能性は無限大。
→カーネル・サンダースの話など。
- ・人の脳は違いがなくほとんど一緒であると言われている。
→では、なぜ差が出てくるのか。それは「思い込みの差」である。

→つまり、親や先生たちが子供たちにどのように思い込ませてきたかが重要
子供の未来に不安を持っていると、実際に不安なことが起こる。

・ビリギャルの話。最後まで母親が娘のことを信じていたからこそ、大学受験に奇跡的に成功した。

・ノミの話。蓋という思い込みにより瓶から出られなくなってしまう。つまり、限界だと思いこんでしまうと能力さえも制限されてしまう。

→元気なノミを入れれば、瓶から出られなかったノミも復活。

⑥ 思い込みの力。セルフイメージを変える。

・「思い込み＝セルフイメージ」。これは6歳までに作られると言われている。
ネガティブな赤ちゃんは存在しない。成長するにつれてネガティブに。

・自分の思い込みを知る。そして、その思い込みを変える。

・明德義塾高校の監督の話。大嶋氏の話聞き、まずは自分が変わるべきだったことに気づいた。

→結果的として、翌年に甲子園出場できた。心が変われば、思考が変わり、行動が変わり、結果が変わるという事例。

⑦ 限界を突破し、可能性を最大限引き出す方法

・「可能性を信じる」「仲間の力」「誰かのために」の3つ

→これらを感じさせるビデオをいくつか視聴

⑧ 感謝のメッセージ

・予祝でもあり、セルフイメージを変えることにもつながるため、

2020年の年末を想像して、感謝を伝えたい人にメッセージを記入。